

スポーツ競技とマウスガード(2023年3月現在)

注意：このリストは会員からの提供情報に基づいて作成しております。最新の規則など、詳しい取り決めは各競技団体に照会願います。また、記載内容の変更や誤りがございましたら学会事務局までご連絡ください。

競技種目	対象	備考
ボクシング(日本ボクシング連盟)	義務	必ず歯にしっかりと合ったマウスピースを使用しなくてはならない。赤色及び赤系統の色が含まれるものは禁止する。
キックボクシング(複数組織あり)	義務 (国内・国際)	
空手(組手)(団体・流派により異なる)	義務 (一部団体・国際)	全日本空手道連盟・国際空手道連盟。透明(全日本)
テコンドー(ワールドテコンドー)	義務 (国内・国際試合)	透明・白のみ。例外なく装着義務。矯正装置等のない選手は上顎歯列を覆う。安全面から歯科医師作成のMGがベスト。
総合格闘技	義務 (国内・国際)	
ラグビーフットボール(日本ラグビーフットボール協会)	義務(国内)	小学校5・6年生は推奨。13-18歳は義務。WR競技規則4条許可
アメリカンフットボール(日本アメリカンフットボール協会)	義務 (国内・国際)	見た目にわかりやすい色とする(白、透明は禁止)
ラクロス(日本ラクロス協会2022)	義務 (国内・国際)	女子:見た目にわかりやすい色とする(白、透明は禁止)、グラフィックの歯が描かれていてはならない。 男子:見た目にわかりやすい色とする(白、透明以外の色を推奨)、また使用するマウスガードは上顎の歯全てを覆うように歯科医もしくは歯科技工士により調整されたもの(歯科医もしくは歯科技工士により選手の受傷回避のために作られた口腔内保護用品)のいずれかでないといけない。
ホッケー(日本ホッケー協会)	義務 (スポーツ少年団、マスターズ大会は強く推奨)	2022年度より完全実施(ゴールキーパー:推奨)
インラインホッケー(World Skate)(国際アイスホッケー連盟(2011・12))	義務(国際アイスホッケー連盟:18歳以下、ワールドスケート:バイザー装着者)	統ルールなし
アイスホッケー(公式国際競技規則2018-2022年度)	成人女子:推奨 U-20男子:義務(条件付き)	女子:カスタムメイドの着用推奨 男子:「アンダー20」の年齢カテゴリーのプレイヤーは全員、顔面全体の保護具(フルフェイスバイザーまたはケージ)を着用していない場合には、マウスガード(望ましくはカスタムメイド)を着用しなくてはならない。
モーターバイク(2021ロードレース競技規則:国際モーターサイクリズム連盟)	推奨(ロードレース、モトクロス、トライアル、エンデューロ、スーパーモト、モタード)	出血が見やすい色 ロードレース モトクロス トライアル

競技種目	対象	備考
バスケットボール(日本バスケットボール協会:競技規則2021)	許可(国内・国際)	透明
高校野球(日本高等学校野球連盟:2010年3月～)	許可	透明・白に限る
柔道(全日本柔道連盟)	許可	透明・白に限る (畳に上がる前に審判員に申告、2017年3月)
ハンドボール (IHF:International Handball Federation 国際ハンドボール連盟 競技規則2022)	許可(国内・国際)	透明で単一色のMG装着を許可 https://www.ihf.info/sites/default/files/2022-09/09A%20-%20Rules%20of%20the%20Game_Indoor%20Handball_E.pdf より (2022年12月12日アクセス)